

(様式1)

## 令和4年度 岩手県立水沢商業高等学校経営計画

校長：大石 恭平

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	児童生徒 ○わかる授業と学力の向上 ○部活動等充実した生活 ○上級資格取得と進路目標の達成	保護者 ○心身の健全な育成と安全、安心な環境 ○学習意欲と学力の向上 ○進路希望の実現	地域住民 ○地域と連携した特色ある教育 ○地域産業に貢献する人材育成 ○部活動等の活躍	他：中学校、企業 ○個々に応じた教育の展開 ○望ましい勤労観と職業観の育成 ○高校教育の質の保証
	(2) パートナーとの関係	児童生徒 ○教職員に対する信頼 ○自主的な学習と生徒会の展開	保護者 ○教育活動全般には理解があり協力的である。 ○相互の情報共有	地域住民 ○地域行事等への参加要請と連携 ○商業教育の成果の提供や提案	他 ○商業教育に対する理解と浸透 ○各種キャリア教育に対する実践的支援
	(3) 学校に影響を与える変化	○グローバル化、高度情報化、高校教育改革の進行 ○少子化による生徒数の減少 ○校舎や施設・設備の老朽化			
2 校訓・教育目標	校訓「明 浄 直」 教育 (1) 豊かな人間性を備え、社会に貢献し得る人間を育成する 目標 (2) 志を高く堅持し、たゆまぬ向上心を持って努力する強固な意志と旺盛な意欲を養う (3) 広い視野に立って物事を考え、礼節を重んじる態度を養う (4) 勤労を貴び、協調と奉仕の精神を養う				
3 目指す学校像	(1) 今年度の重点目標	重点目標		達成指標	
		ア 基礎基本の定着と実践的・体験的なビジネス教育の推進		・教科の授業内容がわかると答えた生徒の割合【80%以上】	
		イ 自己肯定感の育成		・目標に向かって失敗を恐れず挑戦したと答えた生徒の割合【85%以上】	
		ウ 社会人基礎力の育成を念頭に置いたキャリア教育の推進		・進路指導を適切に行っていると答えた生徒の割合【85%以上】	
		エ 地域・保護者との連携・協働を推進		・地域・保護者と連携した教育活動を行っている答えた保護者の割合【70%以上】	
	オ 学校いじめ対策組織の取り組みを中核としたいじめの防止		・高校生活に満足していると答えた生徒の割合【80%以上】		
	(2) 取組方針	ア 基礎基本の定着と実践的・体験的なビジネス教育の推進 (7) すべての教科において言語活動や他者と協働して課題を解決する活動を取り入れ「考え抜く力」を高める (4) 専門教科は、ビジネス体験との接続を意識した学習を展開するとともに、高度資格取得への意欲を高め、「課題研究」は探究的活動を展開する			
イ 自己肯定感の育成		(7) 生徒が目標に向かって失敗を恐れず挑戦できるよう「前に踏み出す力」を育成 (4) 生徒一人ひとりを大切にする、生徒目線での教育活動の充実			
ウ 多様な進路希望に応じたキャリア教育を実践し、個々の進路実現を図る		(7) 就職や進学に関する情報収集に努め、タイムリーな情報提供を行う (4) 商業教育の学びを生かし、全学科で「ござえんちゃハウス」を実践する			
エ 地域・保護者との連携・協働を推進		(7) 地域の教育資源や人材を活用した授業や学校行事の推進 (4) コミュニティ・スクール導入に向けた具体的体制づくりの推進			
オ 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」の推進（いじめ未然防止）		(7) 自己有用感を育むため、生徒一人ひとりが活躍し、認められる場の提供する (4) 生徒会による「いじめ撲滅標語コンクール」の実施			